



答 辞

冬の寒さも和らぎ、木々につばみも芽吹き、暖かい風とともに春の訪れを感じる季節となりました。

私たちは今日、武庫川女子大学短期大学部での学生生活を終え、各々将来への第一歩を踏み出します。いざ、卒業となりますと、新たな道に対する希望を抱くとともに一抹の寂しさも感じます。

振り返れば、公江記念講堂で期待と不安を抱きながら臨んだ入学式から2年の月日が流れました。武庫川女子大学短期大学部で過ごした2年間は誇りであり、かけがえのない経験で自分自身を成長させるものとなりました。

健康・スポーツ学科で過ごす日々は、私にとって毎日が新たな発見と挑戦ばかりでした。自分の興味のある分野を様々な視点から専門的に学び、それを幼い頃から習っていたクラシックバレエに繋げて生かすということが楽しく、学ぶ糧となりました。また、経験のない種目を行うことも、初めのうちは上手くできないことが辛く、恐怖心もありましたが、それ以上にできた時の達成感は大きく、何事も挑戦し努力すればできるようになるということを強く実感することができました。そんな中で周りのアドバイスや応援は私の励みとなり、特に水泳の授業でほとんど泳げなかった私が四泳法で個人メドレーを泳ぎ切ったときは、自らの無限の可能性と周りの人達が支えてくれる重要さを感じ、これから先どんな壁にぶつかっても乗り越えられるという自信に繋がりました。

私の武庫川女子大学短期大学部での一番の思い出は、体育祭の「コスチューム」です。参加は2年生の時の一度きりでしたが、部活動や委員会をしてこなかった私にとって学校と関わる初めての大きな機会でした。振り付け構成、音楽、衣装、すべてを一から学生だけの手で作り上げていくことは簡単なことではなく、日々の練習も大変でしたが、本番の日に舞台上で踊ったあの瞬間の喜びと一体感は今でも忘れられません。この2年間で私を成長させてくれたものは、こうした周りの人との交流だと思いました。今まで出会ったことのない考え方やものの捉え方、価値観、様々なものが私を刺激し、視野を広げる機会となりました。

在学生の皆さん、本学には皆さんが興味のあることを学び、挑戦するための素晴らしい設備、学生のことを親身になって考えてくださる先生方、そして高い志を持った仲間がいます。この素晴らしい環境の中で大学生活を通じて皆さん一人ひとりが抱いている夢を実現されることを願っています。

今日まで本学で充実した日々を送ることができましたのは、未熟な私たちを励まし、ご指導くださいました学長瀬口和義先生をはじめとする諸先生方、様々な場面で私たちを支えてくださった職員の皆様のおかげです。心からお礼申し上げます。また、私たちが大学で勉学に励むことができたのも、日々支えてくれた家族がいたからです。卒業を迎えた私たちの成長を今日まで温かく見守り続けてくれたことを感謝します。そして、学生生活を共に過ごした仲間との時間を決して忘れません。共に夢に向かって進んできた仲間に改めて感謝の言葉を伝えます。

私たちは令和最初の卒業生として、新しい時代を美しく和やかにしなやかに、自分の選んだ道に誇りを持った輝く女性となることをお誓いいたします。

最後になりましたが、武庫川女子大学短期大学部の一層のご発展と皆様のご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げ、卒業生を代表してお礼とお別れのご挨拶とさせていただきます。

令和2年3月20日

武庫川女子大学短期大学部

卒業生総代 健康・スポーツ学科

田 中 里 奈

